

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：のぞみ山手駅前保育園	種別：小規模保育事業A型
代表者氏名：川崎 恵理	定員（利用人数）：19名
所在地：〒231-0845 横浜市中区立野75番地8	
TEL：045-624-3283	ホームページ： https://nozomiyamate.com
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2021年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社Joli Coeur	
職員数	常勤職員：7名 非常勤職員：14名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士：13名 調理師：1名
	子育て支援員：6名
施設・設備 の概要	（居室数）
	居室：0歳児室
	居室：1歳児室
	居室：2歳児室
	（設備等）
	設備：調理室
	設備：沐浴室
	設備：医務室
	設備：幼児用トイレ
	事務棟（別棟）
	設備：前庭
	設備：面談室
	設備：多目的室

③理念・基本方針

<理念>

あたたかい心をまっすぐに育てる

<基本方針>

お子さんの豊かな心の育ちを最優先にし、ひとりひとりの心に寄り添い、大切にお預かりする

<保育目標>

1. 美味しい給食と食に関わる体験を通して、食べることを楽しむ子どもに
2. 地域との関わりをもちながら、人と触れ合うことが好きな子どもに
3. さまざまな遊びを通して、豊かな感性を持つ子どもに

④施設・事業所の特徴的な取組

〈のぞみ山手駅前保育園の特徴的な取組〉（基本情報Ⅰ-3の記載事項）

1. 「小規模ならではのアットホームさ」

園児19名の小さな園だからこそ、すべての子どもたちをよく理解して丁寧に関わることができます。

2. 「荷物が少ない」

保護者の負担軽減のため、日々の荷物は連絡帳と着替えのみとし、その分お子さんと触れあう時間と、保護者自身の休息の時間を作っていたいただきたいと思います。

3. 「相談しやすい」

コロナ禍で外に出られず他者との接触を制限された中での出産、子育ては大きなストレスであったと思います。初めての出産や育児で不安を抱える方も多いので、明るく声をかけながら相談しやすい雰囲気心がけています。

4. 「明るく元気な職員」

職員のチームワークが良く、互いにフォローしながら明るく保育をしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年04月11日（契約日）～ 2024年02月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【のぞみ山手駅前保育園の概要】

●のぞみ山手駅前保育園は、株式会社Joli Coeur（以下、法人という）が、令和3年4月1日に開設した横浜市認可小規模保育園です。認可園に移行する前は18年間、横浜保育室としての運営実績があります。会社名のJoli Coeur（ジョリクール）とは、フランス語で「あたたかい心」という意味であり、0歳児から2歳児までの乳児が通う小規模保育園のイメージを、羽をつけた子ぐまのロゴや天使の羽等でやさしく表現し、社名のあたたかさにつなげています。のぞみ山手駅前保育園は、保育理念である「あたたかい心をまっすぐに育てる」を目指し、小規模園ならではの「温かい家庭的な雰囲気」を大切に、子ども一人ひとりに寄り添った保育を実践しています。また、のぞみ山手駅前保育園には経験値の高い職員が多く、職員間のチームワークの良さが特徴的です。令和3年度の横浜市公開保育研修では小規模保育事業代表として、保育内容・効果をプレゼンテーションし、関係機関から高く評価された実績があります。

●のぞみ山手駅前保育園は、JR京浜東北根岸線「山手駅」の改札を出て左へ20m、徒歩1分以内の高架下にあります。地理的に、高台と平坦地が混在する地形に閑静な住宅街が広がり、自然が多く緑に触れられる環境であり、古くからの歴史を重ね、「今」を創造するエリアには史跡や観光名所も多く、さらには障害児施設や小学校、中学校等の教育機関があり、子育て世帯が流入している地域です。

●のぞみ山手駅前保育園は、定員19名（0歳児～2歳児）であり、現在19名が在籍しています。園内は、広いワンルームを年齢に応じてスペースを分けて使用しています。安全・衛生面に十分配慮し、子どもたちが使いやすい位置に遊具等を配置し、手洗い場は子ども仕様の使いやすい自動水栓を採用しています。子どもたちは、安心・安全な環境で、保育士と一緒に手遊びやリズム遊び等、笑顔でスキンシップを楽しんでいます。周囲には四季の変化を感じられる自然豊かな公園も点在し、天気の良い日は散歩に出かけ、子どもたちは自然の中でのびのびと遊んでいます。

◇特長や今後期待される点

1. 【子どもの個性を育む保育】

のぞみ山手駅前保育園では、子どもを良く観察し、「何を求めているのか」・「何が必要か」を考察し、遊具や遊びを提供しています。職員の手作り遊具が多く、週1回の遊具のお披露目会を見学させていただきました。子どもたちは興味津々で目を輝かせ、早速、手作りお店やセットで遊び始めます。また、年齢や子どもの状況に合わせて、リズム遊びやムーブメントを取り入れ、室内外を含め飽きさせない保育を行っています。調査初日は、週1回のリズム・ムーブメント遊びの日でした。年齢に応じてリズムのテンポを変えて動き、0歳児は保育士と一緒に参加、2歳児は1歳児の手を取りぴょんぴょん飛び等、かわいい異年齢交流も多く見られました。職員も子どもも笑顔が溢れ、見ていて楽しさが伝わります。職員は、常に子ども一人ひとりに寄り添った保育を心がけ、子どもの個性を把握し、職員間で共有しながら子ども一人ひとりと丁寧に向き合っている保育を行っています。今回の利用者家族アンケートにも「子どもを大切にしている」・「アットホーム」・「手厚い保育」等の意見が多く寄せられ、保育への満足が窺われます。

2. 【楽しい食育活動】

食えることは生きることを基本に、当園の保育目標に「美味しい給食と食に関わる体験を通して、食えることを楽しめる子どもに」を掲げ、全職員一丸となって食育活動に取り組んでいます。食育計画に基づき、プランターや地域の畑を借りて季節の草花や野菜を育て、子どもたちに菜園活動（種まき、水やり、収穫）を通して、食を身近に感じられるよう工夫しています。畑での芋掘り体験から、さつまいもとジャガイモの味比べ体験、新米ときから炊き立ての食感体験等、時々に応じた取組を実践しています。当園の献立は和食を中心に、毎月の給食会議で調理師と保育士で「子どもに食べさせたいもの」を考え、翌月の1か月間の献立を立て、栄養士（委託）は栄養価計算を行い、季節や栄養価が十分満たされた献立になっています。仕入れは地元の魚屋、肉屋、スーパーから、旬の食材を取り寄せています。調査者も食事をいただき、その日の主菜「ぶりの塩麹焼き」が柔らかくて優しい味付けで美味しく、子どもたちも喜んで食べていました。園舎前の掲示板には毎月の献立メニューや、食事内容の写真が掲載され、地域にも好評です。今回の利用者家族アンケートでも「給食がとても美味しい」・「食育を重視」等が寄せられ、満足回答率95%という高い評価を得ています。

3. 【地域交流の促進・子育て支援の推進】

のぞみ山手駅前保育園は、横浜保育室運営の頃から地域とのつながりが深く、近所のお年寄りから手作り玩具をいただいたり、郵便局の畑を借りたり、町内会のお祭りへの協賛・JR山手駅とタイアップして七夕飾りを設置する等、色々な取組を行っています。また、小学校の「こども110番の家」としても協力し、小学生が気軽に立ち寄っています（トイレ使用等）。地域との関わりは、園目標「地域との関わりをもちながら、人と触れ合うことが好きな子どもに」を掲げ、保育計画の中で、地域交流行事を位置づけ計画・実施しています。その1つ「ハロウィンパレード」では、子どもたちが職員の手作り衣装を着て商店街を歩き、地域の方々からの声掛けと共に、お菓子や手作りポシエット（ディサービスのご利用者）をもらい、お礼に藍染め巾着を渡していました。藍染め巾着は、子どもたちが種から藍を育て、葉っぱを布の上で叩いて染めたもので、叩き方に個性が溢れ、それぞれ素敵なのができていました。地域の福祉ニーズにも貢献し、横浜市が推奨している「一時保育事業」に協力し、土曜日に受入れています。また、当園の運営委員には地域の方が務め、職員に地域の民生委員・児童委員を有している等、地域と密接に関わり、保育園の専門的な知識や技術を生かして子育てに必要な支援を行っています。

4. 【経営の安定化】

当園は、一法人一施設かつ小規模保育事業のため、経営の安定化が課題と考えています。常勤職員7名、非常勤職員14名と、多くの職員を抱え手厚い保育に努めています。近年の物価高騰に伴う諸経費の捻出も大変です。また、当園の和食を中心とした献立内容に高い経費を要し、新鮮でおいしい魚を提供したい、人的・物的に整った環境の中で保育を実施していくという信念の基で、管理者会議（経営者・園長補佐）で対応策を話し合っています。また、職員会議は、職員の心理的安定性の担保を図るため、4時間かけて保育士全員の意見の総意で決定しています。そのため理解・共有が図られ職員間のチームワークはとても良い状況です。保護者の負担軽減とする「荷物が少ない」の取組は好評であり、保護者の意見に傾聴し、職員で協力しながら、「選ばれる保育園」になるための取組を推進しています。今後もアイデアを出し合い、経営の安定化を図る取組みに期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 のぞみ山手駅前保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

認可園として移転後3年目となる今年、初めての受審をしました。自分たちで「良くできている、きちんと取組んでいる」と思っていたことも、チェック項目に沿って細かく確認してみると、不十分だと気付いたことがありました。「問題点を把握し、保育サービスの質の向上に結び付ける」という受審の目的を果たせたと思います。

聴き取りを園長だけでなく職員にもして下さったので、当園の実際を良くわかっていただけました。

今回の保護者アンケートでは、多くの方からの励ましのコメントをいただき、職員一同心より感謝申し上げます。

《評価後取組んだ事として》

1. 保護者アンケートの内容を全職員に共有し、改善を求められていることについて職員会議で話し合い、すぐに取組めることについては2週間以内に改善しました。

ご意見としていただいたことについては、3月に実施する運営委員会においてその内容を議事に諮り、いただいたご意見に対して、園として今後どう対応していくのかを年度内に報告させていただきます。

2. マニュアルを全てチェックし、不足がある項目や修正が必要な項目を直しました。

3. 評価者からフィードバックを受けた内容を管理者間で共有し、職員にも知らせました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり